大野城まどかぴあ男女平等推進センター
アスカーラ情報誌

すてっぷ 1 2 3月号

Vol.288
2026.1.1 発行（季刊発行）

写真：与那国島の親子

Content

■事業レポートⅠ

令和７年度アスカーラわくわくひろば …… Ｐ２

■事業レポートⅡ

令和７年度 大野城市男女共生講座
終戦 80 年　真の平和を考える …… Ｐ３

■アスカーラ学びの森

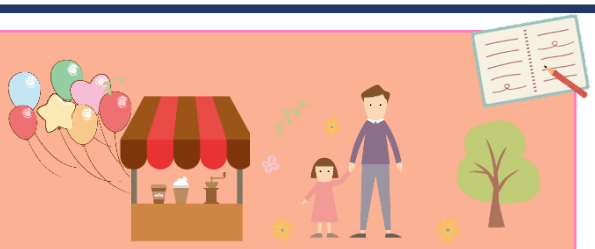
３月８日は国際女性デー …… Ｐ４

事業レポート

■事業レポートⅠ

令和７年度　アスカーラわくわくひろば

【日にち】令和７年８月３０日（土）



「アスカーラわくわくひろば 」は、１０年前に「アスカーラまつり」として始まりました。

今回は、１０団体の協力により開催されました。

絵本の読み語り

『 **啓発・事業サポーター**』では、男女共同参画やユニバーサルな世界観を子どもたちにもわかりやすく伝えるための絵本の“読み語り“（ 伝えたいメッセージを聞き手の方と共有したいとの思いで“読み語り”という言葉を使っているそうです）がありました。たくさんの親子が参加されていました。「これから、家族で考えていくきっかけになった」という感想がありました。

防災豆ちしき

『**防災ほっとキッチン**』では、災害時のパック炊飯などの体験を通して防災豆ちしきを伝えられていました。

『**わくわくカフェプロジェクト**』では、こぶしの型を取り、それにいろいろな紙を貼り合わせていました。同じ大きさであるハート（心臓）の大切さを感じる活動だそうです。

ハートワークショップ

『**一般社団法人おおのじょう MONO 創り Lab.**』のワークショップや『**託児サポーター“ママ・ポケット”**』のわくわく工作体験などのものづくりのコーナーもあり、ご家族一緒に楽しまれていました。

『**大野城子ども劇場**』は、子ども市を開催していました。ゲームやバザーなど子どもたちが考え準備したそうで、とてもにぎわっていました。

ワークショップコーナー

情報交流ひろばの折り紙体験では、身近な材料や巧みなアイディアで、集中して取り組む子どもたちの姿がありました。子どもたちの発想力に驚かされました。

わくわく工作体験

それぞれの団体の伝えたいことが、わかりやすく楽しく皆さんに響いていっていると感じました。

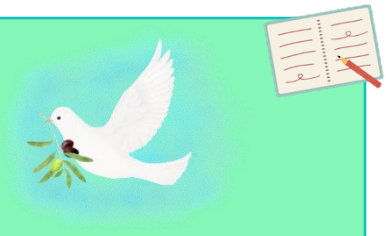
子ども市

情報サポーター　みずほリターン

■事業レポートⅡ

令和７年度　大野城市男女共生講座　館外研修
終戦８０年　真の平和を考える

【日にち】令和７年９月１９日（金）



皆さんは「筑前町立大刀洗平和記念館」がどこにあるかご存じですか？コスモスで有名な朝倉のビール工場の隣です。

つい８０年前、この一帯は東洋一を誇った旧陸軍の飛行場を中心とした一大軍都でした。

館内は当時の飛行機やここから出撃した特攻隊員の遺書や遺品が紹介され、空襲によって破壊された基地と町、頓田の森でそれに巻き込まれた子ども達の悲劇を伝えています。

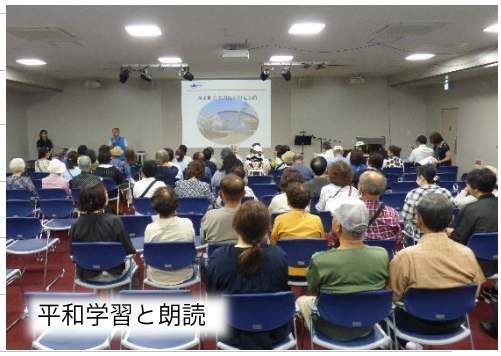
局地戦闘機「震電」(実物大模型)

アメリカ軍の爆撃機 B29 を迎撃するために福岡で開発。実戦に使われることなく終戦を迎えたことから「幻の戦闘機」と呼ばれている

自分が生き残ったことがうれしいとは思わんやった

上記の言葉は館内のシアター映像で、孫に戦時中の体験を話すおばあちゃんのセリフです。

生き残った人はどんな思いだったのか？この館の名称を「平和記念館」とした意味を考え、忘れないように伝え続けることが大切だと思います。



平和学習と朗読

ボランティアによる朗読は、淡々とした分、私の中のイメージが刺激され集中して聴きました。参加者の中には、涙ぐんでいる人もいました。一般客も日曜日午後の定期朗読で聴けるようです。ホームページを確認してみてください。お勧めです。

戦時中は、今の南福岡駅周辺には広大な軍需工場があり、学徒動員で現在の筑紫中央高校・精華女子高校・福岡中央高校などの生徒が勤労奉仕していたそうです。

えんたいごう
掩体壕

当時を知る世代が少なくなり、語り継ぐ人がいなくなると身近な場所でも「※銃後の暮らし」があったことを知らない人が増えるのが怖いですね。

※軍需物資を供給し、食料難や物資不足に苦しみながらも、国家の戦争遂行を支えた一般庶民、特に婦人や子どもたちの生活のことです。

花畑に想う

毎年秋になると、賑わう日本の片隅のコスモス畑。この土地の歴史を知り、当時の人々に思いをはせる時間を与えてくれた大野城市男女共生講座に感謝…。

コスモス畑

※2025 年以降のコスモスフェスタは中止となっています

情報サポーター　おたまじゃくし

アスカーラ学びの森

3月8日は 国際女性デー

国際女性デーとは？

1904 年、ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、国連によって 1975 年に 3 月 8 日を「**国際女性デー**」として制定されました。

「**国際女性デー**」は、女性の社会的、経済的、文化的、政治的な成果を称える日です。

この日は、ジェンダー平等の推進や権利を守るための行動を再確認し、世界中で啓発活動やイベントが行われます。イタリアの「ミモザの日」は有名で、女性に感謝を込めて、母親や妻、友人、会社の同僚などに愛や幸福の象徴でもあるミモザが贈られています。

日本におけるジェンダー課題

■ジェンダー格差

日本はジェンダーギャップ指数で下位に位置し、政治・経済分野での女性の進出が遅れています。特に政治や経営職などで女性が少なく、意思決定の場への参画が十分に進んでいません。

■賃金格差

男女間の賃金差も依然として大きな問題であり、同じ仕事に従事していても、女性の収入が男性より低い傾向にあります。

■育児と仕事の両立

女性が子育てや介護などの家庭責任を負う割合が高いため、仕事との両立が難しく、キャリア継続が阻まれることが多いです。結果として、出産や育児で一度退職すると再就職が困難になるケースもあります。

参考：©HAPPY WOMAN® | ハッピーウーマン

ひとりごと

感嘆符に寄せて

近年、くだけた文書を書くおりに、たびたび使う符号がある。それは、感嘆符「！」「!!」などだが・・・私は定年前まで頭の中に於いては、漫画の💬（吹き出し）に使われていた符号と云う認識しかなかった。会社勤め人の頃は、通常の文章には使ったことが無かった。

しかし、近年よく使用するようになったと思う。携帯電話やスマートフォンでショートメールを打つ場合など。最近、気になって調べてみた。日本語としてはそう古くないと思い。久しぶりに広辞苑を引っ張り出して、引いて見てみる。エクスクラメーション・マークとしか書いてなかった。そこで、パソコンを使ってウィキペディアで検索を試みた。元々、日本に有ったものでは無く、輸入品とのことである。

いつ頃からか？たぶん、句読点とともに明治時代の初め頃に入って来て、新しもの好きな小説家が使い始めたのであろう。官公庁が使用する公用文や、学校の入試問題文などには、何時になったら導入されるだろうか？新聞記事には、時々みかけるようになった。

強いて言えば、先のコロナ禍でパソコンやスマートフォンによる、メールのやり取りが多くなったからと思う。この際、文章形態を見直して誰もが楽しんで、文書作成に励んでもらいたい。音の表現でしかない平仮名やカタカナで表現しきれない意味付けを表現できるように・・・。

情報サポーター　鉄の鳥

アスカーラ フォトギャラリー

令和６年度アスカーラ「男女共同参画」小中学生
図画ポスター・標語コンクール受賞作品

【標語の部】
所長賞　大野小学校

「自分らしい」は
世界に一つの
たからもの

【図画ポスターの部】
所長賞　月の浦小学校

講座・イベント等のお申し込みとお問い合わせ先

公益財団法人大野城まどかぴあ
（男女平等推進センター）
アスカーラ
【住所】〒816-0934 大野城市曙町 2-3-1
【ＨＰ】https://www.madokapia.or.jp
【TEL】092（586）4030
【FAX】092（586）4031
受付時間／月曜日～土曜日　９時～１７時

○各種相談予約はホームページから 24 時間受付けております。

アスカーラ　検索